

核保有9カ国の指導者の皆さまへ

Olivia Shimasaki

何年も前のことです。ある被爆者が私に心を込めて次の言葉を託しました。「すべての核兵器を廃絶し、この美しい地球を子どもたち、孫たち、そしてその先の世代に残して」と。

核兵器は平和の幻影を作り出しました。しかし私はあなた方に、核兵器の本質を見つめ直していただきたいのです。それは、私たちの生存に対する脅威であるということです。核兵器が戦争で使用されてから79年が経ちましたが、その被害は今もなお終わっていません。私自身もその遺産を目の当たりにしてきました。それは、危害の遺産、沈黙の遺産、そして罪悪感の遺産です。そこには勝者などおりません。

私たちには、過去を振り返ることで、核兵器が何十万人もの犠牲者を生み出し、深刻な環境破壊を引き起こし、人々の暮らしを破壊してきたことを学ぶ力があります。私は何年にもわたって、あなた方の争いごと、あなた方の戦争に巻き込まれた被爆者たちの話を聞いてきました。

子どもたちが、美しく空に輝いていた飛行機がなぜ彼らの子ども時代を永遠に変えてしまったのだろうかと考えたとき、そこには誰がいたのでしょうか？

あなた方はどうして、核兵器によって家族が引き裂かれたままでもよいと考えたのでしょうか？

あなた方自身が目撃した恐怖について、いつからあなた方は無理やり口をつぐむようになったのでしょうか？

二度と使われることのない娘の学校のブラウスを、母親がそっと引き出しの奥にしまい込んだとき、あなた方はどこにいたのでしょうか？

風が吹く夜、姿の见えない子どもを声の限りに探す親を、どうしてそのままにしておけたのでしょうか？

なぜあなた方は目に見えるもの以外の被害を見ようとしませんか？

私は、罪なき民間人の語った言葉とともに、核兵器の実験に従事した兵士たちの語った言葉を忘れることはできません。彼らの声は時とともに消えていきません。私たちは忘れません。1945年8月6日と9日という日付は、これまでも、そしてこれからも、歴史に刻まれています。核兵器の開発と技術の進歩をめぐる競争において、あなた方は自らの手で被爆者を生み出しました。男性、女性、そして子どもたちです。あなた方は、本来なら背負うべきでなかった重荷を彼らに背負わせたのです。どうか、地政学的な状況を考える際には、まずこ

れらの人々に思いを馳せてください。

核兵器が害を及ぼすことは明白ですが、あなた方はそれを「安全」のために保持していると言っています。あなた方は抑止力という概念を固く信じ、計 12,000 発もの核兵器を保有しています。しかし、今日たった一つでも核兵器が使われれば、それは壊滅的な影響をもたらします。不安定さを増す地政学的な状況と核兵器に関連するリスクは、かつてないほどの高まりを見せています。私は、地球の反対側から、ウクライナやガザに対する攻撃を見つめています。なぜ私たちは過去から学ぶことができないのでしょうか？

私たちは針が真夜中に近づいているという未曾有の危機に直面しています。私たちの叫び声が都市を焼き尽くす炎にかき消され、爆弾の「ドーン」という音に覆われてしまう世界で生きることを私は望みません。あなた方が核兵器に依存すればするほど核のエスカレーションのリスクは高まります。あなた方が必要な措置を講じて軍縮を進めない限り、私たちはこの悪循環から逃れることはできないのです。

私は、あなた方の一人に変わってほしいとこの手紙を書いているのではありません。あなた方の全員にお尋ねしたいのです。あなた方がしがみついているその「傘」こそが、平和を妨げているものであるとしたら？自分たちの安全の名の下に核兵器使用の威嚇をするのではなく、その幻影を捨て、核兵器が未来への脅威であるという現実に向けてください。

あなた方には、変化を生み出す力があります。核兵器の維持や近代化にかかる経済的コストは膨大です。2021 年には、合わせて 824 億ドル以上が核兵器に費やされました。この金額は、1 分あたり 15 万 6 千ドルに相当します。よって、核軍縮は、正しい行動であるだけでなく、財政的にも賢明な選択です。この資金を振り向ければ、未来に焦点を当て、資源を保護し、人道的な問題を支援することが可能になります。核兵器のない世界を追求することは、戦略的な利益にとどまらず、道義的かつ経済的にも必要なことなのです。

核保有 9 カ国の指導者として、どうか軍縮が強さや先見性の証であることを認識してください。核不拡散条約（NPT）と核兵器禁止条約（TPNW）は、核兵器の拡散を防ぎ、軍縮を促進する必要性を強調しています。これらの条約へのあなた方のコミットメントは、より安定した国際関係を育み、紛争の可能性を減少させることに繋がるでしょう。

私は、未来世代に対するあなた方の共感及び責任感に訴えます。私たちの安全はあなた方の手にかかっています。人々の声に耳を傾け、過去から学び、私たちの未来に核兵器の居場所はないことをどうか理解してください。

心を込めて